

待 第27回ひめさゆり祭 ちに待った開催

6月18日から7月3日まで、高清水自然公園にて、第27回ひめさゆり祭りが開催されました。

標高918メートルに群生地があることから「天空のひめさゆり」と呼ばれ、群生地一面に薄紅色の可憐な花が咲きました。

新型コロナウイルスの影響で、開催は3年ぶりとなった祭は、スタンプラリーやツリーイング体験なども開催され、賑わいを見せました。



森の中でツリーイング体験



高原の風に揺られるひめさゆり



開催期間中は多くの方々のご来場されました

酒 全国新酒鑑評会で4蔵元入賞 どころの名を響かす

5月25日、令和3酒造年度の全国新酒鑑評会の審査結果が発表されました。町内の4蔵元すべてが入賞するなど、「酒どころ会津」の名声を一層高める結果となりました。また、6月21日の南会津町乾杯条例制定日に合わせて、地酒で乾杯プロジェクトによる町内4蔵元の「夏にオススメな乾杯酒セット」が販売されました。これを機会に、南会津の地酒をぜひお楽しみください。



入賞した町内4蔵元の日本酒

南 第63回春季全会津高等学校野球選手権大会 会津高校 初の全会津制覇!

6月7日、全13チームが出場した標記大会の決勝戦があいづ球場で行われ、南会津高校が喜多方桐桜高校を下し、初優勝に輝きました。危なげなく決勝に駒を進めた南会津は、3回に満塁のチャンスを作り、2点タイムリーで先制。勢いそのままに加点し突き放します。3点差で迎えた最終回、2点の追加点を許すも、粘る相手打線を振り切り、7-6で熱戦を制しました。



初優勝を果たした南会津高校野球部の皆さん



【問合せ】

教育委員会 生涯学習課 生涯学習係
電話 0241-62-5511

6月18日、『男だから、女だから』というモヤモヤ、そろそろすっきりさせませんか?」をテーマに、初めて講演会を開催しました。講師には、男女共同参画に関する講演活動を行っている星野雅子さん（白河市）をお迎えし、身近な視点から解説していただきました。今月号は、講演会のポイントをご紹介します。

◆ どうして日本では男女共同参画が進まないの？

理 由	解 説
政治分野 の男女の不均衡	女性の意見が反映されにくく、男性中心に物事が決定されることで、女性差別や少子化等の社会問題につながっている。 【国会議員（衆院議員）女性比率（2021年1月）】 →156か国中140位【先進7か国（G7）で最下位】
日本型雇用慣行 の改革が進まない	終身雇用や長時間労働に代表されるような日本の雇用の仕方では、女性が働き続けたり、復職したりすることが難しい。 【女性管理職比率（2018年）】 →12%（世界平均27.1%、主要7か国中最下位）
性別役割分業 非正規労働差別体制	男女で仕事の役割が決まっていたり、正規社員と非正規社員の格差が大きく、非正規の割合が大きい女性が経済的に自立することを妨げている。 【男女間賃金格差（2018年）】 →男性を1とした場合の女性の賃金は0.662で149か国中110位
既婚女性 の男性による扶養	配偶者控除を受けるために夫の扶養の範囲内で働くという考え方が、能力や意欲のある女性の働き方に影響している。

◆ 身近にできる男女共同参画の推進・・・つまり、「一人ひとりが輝く人生を送るために」

- ★ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)を考えましょう。必ずしも、仕事と家庭が50:50というわけではなく、自分が希望するバランスで展開できる状態のことです。
- ★あなたの家庭にとって必要な事は何でしょうか。オリジナルの仕組みづくりが大切です。
- ★ワーク・ライフ・バランスを実現するには、トップ(社長、首長等)の意識の改革が重要です。

「人生100年時代。輝く人生を送るために、男だから、女だからにとられず、人間としてどのような生き方をしたいか考えてほしいです」

◆ 聴講した方からの感想や意見

まずは、家庭の中の意識改革が必要だと思います。子ども世代の暮らしを見ると、かなり男女の役割の意識が変わってきているので、今後は、少しずつ進んでいくものと期待しています。

女性の活躍を進めるのは大事ですが、男性側のフォローも同じくらい大事だと思うので、男性目線からの講演やイベントを行ってみてはどうでしょうか。各企業での研修会の方が理解度が深まると思います。

（男性と女性の）「渡したくない役割」と「引き受けたくない役割」のバランスが取れてしまっている。一方で、「渡したい役割」と「引き受けたい役割」はバランスが取れていない。意識しないと。

◆ 男女共同参画コーナー 第2回

「からふるプラン」キックオフイベント

男女共同参画講演会を開催



星野 雅子氏

元白河市職員。保育士から事務職に登用され、企画課、税務課、生涯学習課、高齢福祉課などに勤務。

課長職で早期退職し、現在は行政書士、女性労働協会認定講師、株式会社Miyabi代表取締役として活躍されています。

納 福島県功労者表彰 税推進に大きく貢献

福島県功労者表彰は、県政の発展や住民福祉の向上に大きく貢献された個人や団体を表彰するもので、元北根納税貯蓄組合長の阿久津文好さん(針生)が納税功労者表彰を受賞。阿久津さんは、昭和61年3月に北根納税貯蓄組合長に就任し、平成31年3月に解散するまで33年間務められ、組合員の納税意識の高揚と納税実績の向上に大きく貢献されました。



表彰状を手にする阿久津文好さん



作業を終えた後の集合写真

— 南会津ひまわりプロジェクト 面のひまわり畑を思い描いて

6月11日、会津高原星の郷ホテル及びホテル南郷周辺の休耕田で、ひまわりの種まきが行われました。

当日は、休耕田一面にひまわりを咲かせ、南郷地域を訪れる観光客の皆さんをお迎えしたいという思いから、町内や友好都市であるさいたま市などから52名が参加しました。大地に根付いたひまわりは、8月中旬に見ごろを迎え、夏の新たな観光スポットとして素晴らしい景色を見せてくれることでしょう。

長 菊地シツ子さん百歳を迎える 寿の秘訣は早寝早起き

6月9日、めでたく100歳を迎えられた菊地シツ子さん(高杖原)への賀寿贈呈式がご自宅で行われました。お子さんが3人、お孫さんが6人、曾孫さんが10人いらっしゃる、この日は、お孫さんからプレゼントされたちゃんちゃんこに身を包み、笑顔で写真撮影。お花が好きで、ご家族が育てているお花を見るのが日課のシツ子さん、これからもお元気にお過ごしください。



表彰状を抱えて写真撮影に応じたシツ子さん㊟



水田に苦戦しながら田植えをする様子

お 伊南小学校で田植え体験 米を育てる大変さ学ぶ

6月9日、伊南小学校5年生6名と伊南保育所年長さん7名と一緒に田植えを行いました。

初めて入る田んぼ、泥田に足を入れた時のぬるっとした感触に苦戦しながらも、かえるの学校の校長先生である馬場一久さん(青柳)の話に真剣に耳を傾け、丁寧に苗を植えていきました。また、伊南保育所児童も応援に来てくれるなど、楽しくにぎやかに活動することができました。

モ チームビルディングツーリズム事業 モニターツアーを開催！

6月6日から3日間、町ではチームビルディングツーリズム(企業向け研修旅行)モニターツアーを開催しました。

東京都と鹿児島県から2社11名にご参加いただき、「人と山林の共存共栄」をテーマに町内の資源を活用したプログラムに取り組んでいただきました。参加者からは「企業の連帯感を感じることができた」などの感想をいただきました。町では、より良いものとなるように協議検証を進めてまいります。



木材等を使ったネームプレート作成



森林課題解決についてのワークショップ



空き缶を再利用した炊飯に挑戦

災 ドローンを活用した災害時協定 害時や捜索等に活躍

6月1日、amatobuと町で、「災害時及び捜索等における無人航空機による協力に関する協定」を締結。

amatobuは、南総建株式会社に関連会社であり、ドローンを利用した空撮や、そのデータを利用した測量等を実施しています。この協定により災害が発生した場合に、最新鋭のドローンを活用し、被害状況の確認や情報収集等の支援をいただくこととなります。



南総建 星社長㊟、amatobu 星代表㊟



懇談会の様子

夏 高校統合に関する地域懇談会 までに県としての通学手段を示す

6月14日、福島県教育委員会と町の合同主催で、南会津高校と田島高校の統合について、懇談会が開催され、130人以上が集まりました。

県からは来年度に高校を統合し、田島高校の校舎に新たに「南会津高校」を開校すると説明がありましたが、通学手段の確保できていない地域がある中で、統合に対応を求める声が相次ぎました。これに対し県では、今年の夏までに通学手段を示す方針です。

地域おこし協力隊の山田雄大さんが、5月31日をもって、3年間の任期を終えて卒業されました。令和元年6月に着任し、伊南地域で活動。大学とのパイプ役を担いながら、地域文化の伝承による交流事業の企画や、6次産業化に向けた商品の開発及び販路拡大等のミッションに取り組みました。卒業後は伊南地域に残り、任期中から続けてきた直売所の運営や、地元商品を県外に向け販売していきます。また、製作を続けてきたキッチンカーの営業にも挑戦します。

ここでは、地域おこし協力隊員として取り組んだ、3年間の活動を振り返り、温かいご支援とご協力をくださった町民の皆さんへ、感謝の気持ちを伝えます。



地域おこし協力隊 卒業生
山田 雄大（古町）

【直売所連絡先】
電話 080-8168-0228
商品販売も受け付けています

地域おこし協力隊通信 「卒業そして新たなステージへ」

「呼んでくれる人がいることの大切さ」

学生時代に地域活性化の実証実験として耻風地区を訪れ、この地域の活性化に挑戦したいと思い、大学卒業後協力隊になりました。地域の皆さんには、公私ともどもお世話になりました。ありがとうございました。

任期中は、様々な活動に取り組みました。県外のイベントに積極的に参加し、大学と地域の橋渡しとしての役割を担ったり、山菜や野菜、地元の工芸品などの販売を行う直売所も開きました。最終年度には、飲食店を開くべく活動し、最終的にキッチンカーを製作しました。時間外には放課後子供教室の手伝いや卓球クラブなどにも参加させていただきました。

華々しい活動はできませんでしたが、一人ではなかったから3年間続けることができました。ありがとうございます。今後もこの地域に残り何が出来るのか模索を続けたいと思います。これからもどうぞよろしくお願いします。



恥風区での直売所営業風景



県外の大学生との交流事業の様子

中 まちなか再生計画策定第1回懇談会 心市街地活性化を目指して

町では、田島地域中心市街地活性化に向け、具体的な方策や役割分担等を盛り込んだまちなか再生計画を策定します。6月13日には、第1回懇談会を開催。計画策定委員で、これまでの取り組みや計画を振り返りながら課題を整理した後、魅力あるスポットの洗い出し等を行いました。今後、中心市街地活性化の実現に向けて、協議を進めていきます。



様々なアイデアが生まれた懇談会



渡部町長に目録を手渡す二瓶代表取締役⑤

未 二瓶建材店が私募債発行で寄贈 来を担う子どもたちに

5月26日、有限会社二瓶建材店の二瓶浩明代表取締役が来庁され、本町に15万円を寄付されました。

この寄付金は、同社が東邦銀行で発行した「とうほう・地域社会貢献私募債」を活用したものです。

渡部町長が感謝の言葉を述べると、二瓶代表取締役からは「まちの将来を担う子どもたちのために役立ててほしい」と、お話がありました。

全 第36回福島県道場少年剣道大会優勝 国の舞台でも活躍を誓う

5月29日、第36回福島県道場少年剣道大会兼第56回全国道場少年剣道大会福島県予選会が郡山西部体育館で開催され、中学生の部において「伊南武道館A」が優勝しました。7月29日に日本武道館で開催される全国大会には、準優勝した伊南武道館Bも出場します。

主将の酒井健太郎さんは「剣道の里伊南をPRできるよう、全国大会でも上位目指して頑張りたい」と闘志を燃やしていました。



優勝した伊南武道館の剣士の皆さん

福 春の叙勲にて瑞宝双光章を受章 島県の教育に貢献

令和4年春の叙勲において、斎藤龍雄さん（井桁）が瑞宝双光章を受章されました。斎藤さんは、昭和50年平田村立小平小学校を振り出しに、37年の長きにわたり学校教育に携わり、その間、県北教育事務所業務次長、福島県郡山自然の家所長を経験し、平成24年3月に二本松市立岳下小学校長を最後に退職されました。

このたび、長年のご功績が認められ、晴れの受章となりました。心よりお祝い申し上げます。



勲章を胸に付ける斎藤さん